

“現場のニーズ”から未来を切り拓く！

デザイン思考による事業創出 WORKSHOP

参加
無料

現場の未充足ニーズを
事業化につなげる手法をわかりやすく解説

2026年7月17日（金） 9:00-17:00

▶ 会場参加（定員10名）北国ビルディング4F（金沢市片町2-2-15）

▶ オンライン参加（定員15名） ZOOM

【対象】

- ・新規事業・製品・サービス開発の担当者や関心のある方
- ・企業・自治体・支援機関等の皆さま
- ・大学生の皆さま など

* 事前知識や経験は必要ありません

【参加申込み方法】

申込締切：2026年7月10日（金）
以下よりお申込みください

申込フォーム



講師紹介 前田祐二郎氏

歯科医師・医学博士

東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門 部門長
スタンフォード大学バイオデザイン グローバルファカルティ
BD Fund株式会社 代表取締役

略歴

2015年 ジャパン・バイオデザイン設立。
医療ディープテックスタートアップのアクセラレーションを開始。
AI医療機器ベンチャーの上市経験。
BD Fund代表パートナーとしてシード期の投資にも従事。

主催：一般財団法人北陸産業活性化センター

後援：北陸経済連合会

石川県次世代ヘルスケア産業協議会

福井しあわせ健康産業協議会

北陸フェムテックネットワーク

協力：中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

【問い合わせ先・事務局】

一般財団法人北陸産業活性化センター

TEL：076-264-3001 Mail：sanka@hiac.or.jp

ワークショップの概要

デザイン思考を活用した、1日で体感できる実践型ワークショップです

デザイン思考とは？

使う人の話を聞き、行動をよく見て、「本当に困っていること」を見つける
スタンフォード大学発の課題解決の考え方です。
アイデアを小さく試しながら、改善します。

受講するメリット

- 専門知識がなくても参加しやすい
- 困りごとを事業のヒントにするメソッドを習得出来る
- 次に試す一歩が見つかる

なぜ成果につながるのか

Identify : ニーズ発見

Invent : 解決策創出

Implement : 事業化検証

いきなり製品を考えるのではなく、まず「誰が、何に困っているか」を丁寧に探します。そのうえで、使う人・費用・実現方法を早めに確認するので、ムダな開発や手戻りを減らせます。

プログラム

午前

- 導入講義：デザイン思考・バイオデザインの全体像紹介
- 観察結果の理解と課題特定
- ニーズステートメント作成
(観察結果と課題からニーズを抽出し、文章に落とし込む)

午後

- ニーズステートメントのブラッシュアップ、スコーピング(重要な論点に絞り込むための範囲と重点テーマを整理・決定)
- ニーズ調査・絞り込み、ニーズクライテリア(判断や評価のための基準・条件・仕様書)作成
- ブレインストーミング、コンセプト選定、プロトタイピング(試作品製作の手法)

【デザイン思考活用による実績】

58社

プログラム由来
スタートアップ

約15社

Exit (M&A等)
26%相当

91社

修了生による
追加起業

\$1.25B

資金調達

1,800万人+

技術による患者
への貢献

※Exit：約15社は、58社×acquired/other exit 26%に基づく概算。出典：Stanford Mussallem Center for Biodesign “Trainee Outcomes”

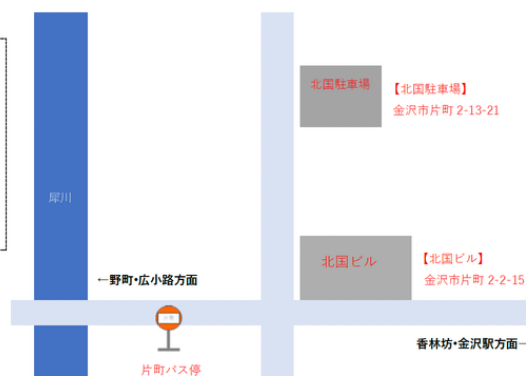
アクセス

◆バスご利用の場合

金沢駅東口のりば⑨⑩⑪から約15分乗車
「片町」で下車、徒歩1分

◆車ご利用の場合

周辺にコインパーキングあり
北国駐車場に駐車の場合、無料券あり



会場：北国ビルディング4F
(金沢市片町2-2-15)

バス利用：金沢駅東口より15分
「片町」下車、徒歩1分

オンライン参加：ZOOM